環境経営レポート

【R4 年度版】

（活動期間 R3 年 11 月 1 日～ R4 年 10 月 31 日）

作成日　R4 年 11 月 7 日

修正日　R5 年 4　月 5 日

株式会社　つくば開発

【 目 次 】

表 紙……1

目 次……2

1. 組織概要……3

1）事業者名及び代表者名……3
2）所在地……3
3）環境管理責任者及び連絡先……3
4）事業の概要……3
5）許可の内容……3
6）事業規模……3

2. 対象範囲……3
1）認証登録範囲……3
2）レポートの対象期間及び発行日……3

3. 環境経営方針……4

4. エコアクション21推進体制……4

5. 環境経営目標……5

6. 環境経営目標の実績……6

7. 環境経営活動計画と取組結果の評価と次年度の取組内容……8

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無……11

9. 代表者による全体評価と見直しの結果……12

1. 組織の概要

1）事業者名及び代表者名
株式会社 つくば開発
代表取締役 吉田 達也

2）所在地
〒305-0023
茨城県つくば市上ノ室 931-5

3）環境管理責任者及び連絡先

EA-21 責任者	TEL	FAX	E-mail アドレス
吉田 達也	029-875-4488	029-875-4489	tsukuba-kaihatsu@ia4.itkeeper.ne.jp

4）事業活動の内容
建設業（土木工事・舗装工事）
上記活動に伴う事務活動

5）許可の内容

許可名及び許可番号	許可内容	許可期限
○建設業 茨城県知事(特-21 号) 第 30275 号	1.土木工事業（土木一式工事）5.とび・土工工事業 6.石工事業 11.鋼構造物工事業 13.舗装工事業 14.浚渫工事業 26.水道施設工事業	R6 年 6 月 8 日
○産業廃棄物収集運搬業 茨城県知事 許可番号 801154975	廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く）.紙くず.繊維くず.金属くず（自動車等破砕物を除く）.ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く）.がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く）	R7 年 8 月 1 日

※産業廃棄物収集運搬は業としての活動はしておりません。

6）事業規模

項目	単位	R2 年度 （1 年 11 月～2 年 10 月）	R3 年度 （2 年 11 月～3 年 10 月）	R4 年度 （3 年 11 月～4 年 10 月）
売上高	百万円	356	269	319
工事実績	件	30	52	57
従業員数	人	17	17	19
自社敷地面積	㎡	330	330	330
事業所床面積	㎡	49.5	49.5	49.5

2. 対象範囲

1）認証登録範囲
当社のエコアクション21活動は、下記記載の当社全組織、全活動を対象に実施しています。

対象事業所	住　　所	活動内容
事務所	茨城県つくば市上ノ室 931-5	建設業に係る施工及び業務
資材置き場（無人）	茨城県つくば市上ノ室 610-1	資材の保管

2）レポートの対象期間及び発行日
環境経営レポート 表紙に記載

3. 環境経営方針

株式会社 つくば開発は、土木工事業を主事業として、地域および次世代の環境におよぼす影響を常に考え、環境に配慮し、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、環境に配慮して行動します

1. 当社は、建設事業を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し環境経営目標・環境経営活動計画を定め継続的な改善に努めます

2. 当社の事業活動に関連する環境法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します

3. 当社の事業活動からの、環境に与える影響を緩和するため、次の事項に対して優先的に取組みます

   ①二酸化炭素排出量の削減
   ②廃棄物の減量化
   ③水資源使用量の削減
   ④自らが施工販売提供する製品ｻｰﾋﾞｽでの環境配慮
   ⑤外国研修生の安定した雇用
   ⑥ICT 等高度技術の取組

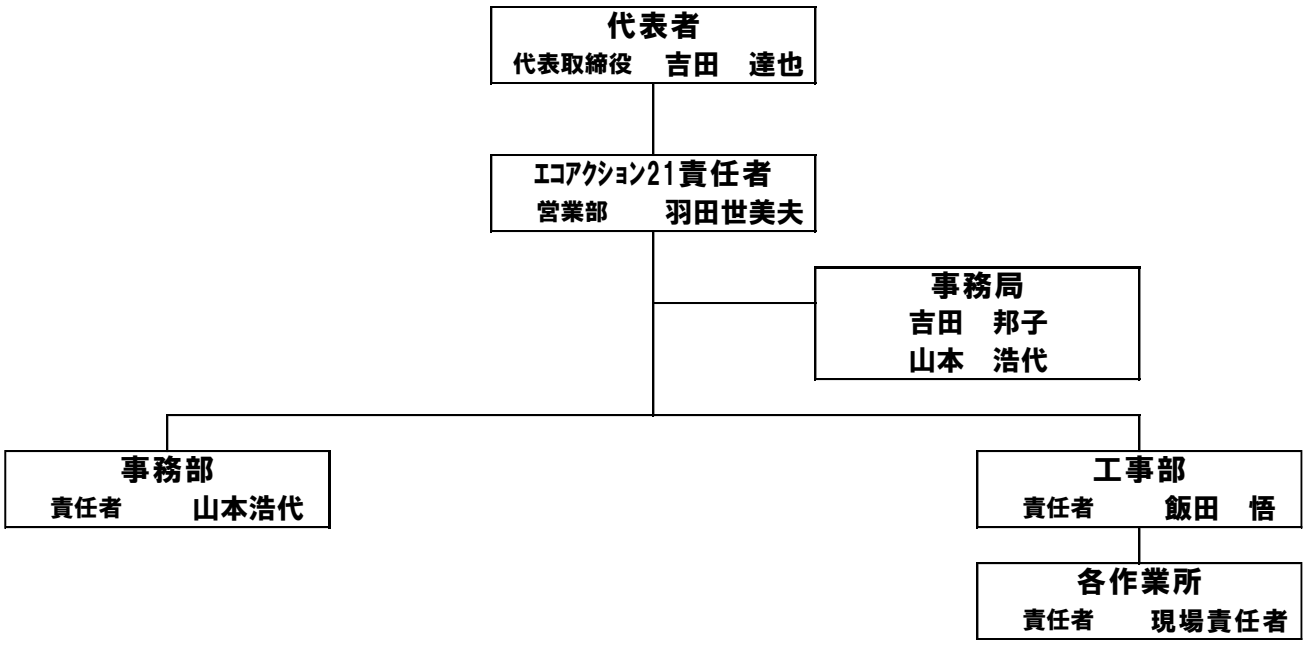
この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します

TSUKUBA KAIHATSU

制定日 H23 年 02 月 1 日
改訂日 H23 年 11 月 1 日
改訂日 R1年 11 月 21 日
改訂日 R3 年 06 月 10 日
改訂日 R4 年 11 月 02 日

株式会社 つくば開発
代表取締役 吉田 達也

4. エコアクション21推進体制



5. 環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定しました。

取組み項目		基準値と単位	R4 年度 R3/11/1～R4/10/31		R5 年度 R4/11/1～R5/10/31	R6 年度 R4/11/1～R5/10/31
			目標	実績	目標	目標
1	CO^2の削減 1.電力使用量の削減	事務所電力 使用量 ※R2 年実績 10,361kWh/年間 4,569.2kg-CO2	R2 年比 6%削減 9,739kWh 4,295kgCO2	○ 9,732kwh 4,292kg-CO2	R2 年比 7% 削減 9,634kWh 4,249 kg-CO2	R2 年比 8% 削減 9,532kWh 4,204 kg-CO2
	2.燃料使用量の削減	・商用車ガソリン 使用量 ※R2 年実績 2,847.9 ﾘｯﾄﾙ/年間 6,607.13kg-CO2	R2 年比 4% 削減 2,733 ﾘｯﾄﾙ 6,340 kg CO2	○ 2,350 ﾘｯﾄﾙ 5,453kg-CO2	R2 年比 4.5% 削減 2,719 ﾘｯﾄﾙ 6,308 kg-CO2	R2 年比 5% 削減 2,706 ﾘｯﾄﾙ 6,278 kg-CO2
		・工事用車 ｶﾞｿﾘﾝ使用量 1,536.18 ﾘｯﾄﾙ/年間 3,563kgCO2	R2 年比 4%削減 1,474 ﾘｯﾄﾙ 3,419gCO2	○ 1,472 ﾘｯﾄﾙ 3,416kg-CO2	R2 年比 4.5% 削減 1,467 ﾘｯﾄﾙ 3,403kgCO2	R2 年比 5% 削減 1,459 ﾘｯﾄﾙ 3,384kgCO2
		・建設車両 軽油使用量 52,005.4 ﾘｯﾄﾙ/年間 134,173 kgCO2	R2 年比 4%削減% 49,925 ﾘｯﾄﾙ 128,806kgCO2	○ 49,883 ﾘｯﾄﾙ 128,699kgCO2	R2 年比 4.5% 削減 49,665 ﾘｯﾄﾙ 128,135kgCO2	R2 年比 5% 削減 49,405 ﾘｯﾄﾙ 127,464kgCO2
	3. 合計 CO_2排出量の削減	※R2 年実績 148,912kgCO2	R4 年度目標合計 142,860kg-CO2	○ 141,860kg-CO2	R5 年度目標合計 142,095kg-CO2	R6 年度目標合計 141,330kgCO2
2	廃棄物の削減 1.一般廃棄物の削減	単純焼却廃棄物量 ※R2 年実績 ※R2 年度事務所 95 kg	R2 年比 5.5% 削減 89.8 kg	○ 89.6 kg	R2 年比 6% 削減 89.3 kg	R2 年比 6.5% 削減 88.8 kg
	2..産業廃棄物再資源化率	産業廃棄物再資源化率の向上 ※R3 年実績 94.9%	R3 年実績 94.9%以上	△ 90.4%	R4 年実績 以上	R5 年実績 以上
3	水資源使用量の削減	水道使用量 ※R2 年実績 213 ㎥	R2 年比 4% 削減 204.5 ㎥	○ 146.0 ㎥	R2 年比 4.5% 削減 203.4 ㎥	R2 年比 5% 削減 202.4 ㎥
4	自らが施工販売提供する製品サ―ビスでの環境配慮(地域住民に対するボランティア活動)	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動数 ※R3 年実績 1 件	R3 年実績以上 1 件以上	○ 3 件	R4 年実績以上	R5 年実績以上

※購入電力の排出係数は、基準年度も含めて令和２年度東京電力ｴﾅｼﾞｰﾊﾟｰﾄﾅｰ㈱0.441 kg-CO2/kwh を採用しています。

6. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

※判定評価　目標達成率 100%以上=○　達成率 99%以上～100%未満(ほぼ達成)=△　達成率 99%未満=×

1）CO_2の削減

CO_2の排出量削減は、事業所排出量の 96.88%を占める電気使用量と商用車両のガソリン使用量、建設現場では、排出量の 99.39%を占める建設車両燃料である軽油使用量を削減目標にしました。

1.電力使用量の削減

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	増減率	判定
電力使用量 (購入電力) 6% 削減	事務部門 (事務所)	9,739KWh ※4,295 kg-CO2	9,732KWh ※4,292 kg-CO2	0.07%減	○
	電力削減は、未使用時の消灯や空調温度管理の徹底を実施した結果、目標達成しました。				

※購入電力の排出係数は、0.441(kg-CO2/kwh:東電:令和 2 年度調実質排出係数)を採用しています。

2.-1 燃料使用量の削減　商用車燃料:ガソリン.

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	増減率	判定
ガソリン使用量 4% 削減	事務部門	2,733 ﾘｯﾄﾙ ※6,340 kg-CO2	2,350 ﾘｯﾄﾙ ※5,453 kg-CO2	14.0%減	○
	エコ運転等を実施した結果、削減できました。				

2.-1 燃料使用量の削減　工事用車燃料:ガソリン.

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	増減率	判定
ガソリン使用量 4% 削減	工事部門	1,474 ﾘｯﾄﾙ ※3,419 kg-CO2	1,472 ﾘｯﾄﾙ ※3,416 kg-CO2	0. 1%減	○
	エコ運転等を実施した結果、削減できました。				

2.-2 燃料使用量の削減　　建設車両燃料:軽油.

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	増減率	判定
軽油使用量 4% 削減	工事部門	49,925 ﾘｯﾄﾙ ※128,806 kg-CO2	49,883 ﾘｯﾄﾙ ※128,699 kg-CO2	0.08%減	○
	ダンプ、重機等のエコ運転等を実施した結果、目標達成しました。				

3.合計 CO_2排出量の削減

目標: 142,860kgCO2 に対し実績: 141,860kgCO2 で 0.7%減であった。

2)廃棄物の減量化

分別を実施し、有価物(売却)を増やし、産業廃棄物排出量を少なくする為に、廃棄物の資源化率の向上を目標に掲げました。また、一般廃棄物の削減は、事務所内からでる単純焼却廃棄物の分別実施後の数量削減を目標に掲げました。

1.-1 単純焼却廃棄物の削減

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	増減率	判定
単純焼却廃棄物(一般廃棄物) 5..5%削減	事務部門	89.8 kg	89.6 kg	0. 2%減	○
	分別実施、裏紙の利用等を実施し削減出来ました。				

1.-2 産業廃棄物再資源化率の向上

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 2/11/1～3/10/31	増減率	判定
再資源化率 R3 年実績以上	工事部門	94.9%以上	90.4%	4.7%減	△

3)水資源使用量の削減

当社の水資源の使用は、トイレと台所で使用している水道水に限られています。今回は、節水等の啓蒙活動による、水資源の重要性を社員に気づかせることから始めました。

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	増減率	判定
水道使用量 3.5% 削減	事務部門	204.5 ㎥	146.0 ㎥	28.6%減	○
	節水活動を実施した、削減出来ました。				

4)自らが施工販売提供する製品サービスでの環境配慮

地域住民に対するボランティア活動数の向上を目標に掲げました。

取組項目	部署名	4 年度目標 3/11/1～4/10/31	4 年度実績 3/11/1～4/10/31	判定
ボランティア活動数 1 件以上	事務部門	1 件以上	3 件	○

7. 環境経営活動計画と取組結果の評価 と次年度の取組内容

当社の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の活動を実施しています。その達成状況や活動の実施状況を毎月各部門から報告をうけ EA21 委員会及び事務局がフォローしています。

※計画 計画あり=○ 計画無し= － 結果 計画通り実施=◎ ほぼ計画通り=△ 計画通り出来て無い=×

取り組み評価 満足(対計画:◎が 90%以上)=◎ ほぼ満足(◎が 80%以上)=△ 不満足(◎80%未満)=×

1) CO_2の削減

1.事務所での電力使用量の削減

取組項目	責任者		実施スケジュール												取組評価
			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
①節電シール等の表示及び確認	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	
②空調温度管理の徹底	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	
③未使用時の電気消灯の徹底	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
次年度の取組内容	空調温度管理の徹底を特に強化しながら削減活動を継続実施していきます。														

2-1.事務部門での車両燃料使用量(ガソリン)の削減

取組項目	責任者		実施スケジュール												取組評価
			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
①日常点検の実施	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
②アイドリングストップの徹底	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
③車両の燃料使用量と走行距離のチェック	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
④「エコドライブのすすめ」を車両に掲示と確認	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
次年度の取組内容	引き続き、アイドリングストップを中心にしたエコドライブの徹底をしていきます。														

2-2.工事部門での建設用重機燃料使用量(軽油)の削減

取組項目	責任者		実施スケジュール												取組評価
			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
①日常点検の継続	工事部 飯田 悟	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
②重機のアイドリングストップ	工事部 飯田 悟	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
③重機の効率的使用の継続	工事部 飯田 悟	計画	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
④平常時エンジン出力低設定(確認)	工事部 飯田 悟	計画	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
⑤「省エネ運転等」講習会参加	工事部 飯田 悟	計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	×
		結果	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
次年度の取組内容	引き続き重機等のアイドリングストップを中心にしたエコ運転を実施します。 また、「省エネ運転等」講習会へ今年度は参加をしたいです。														

2） 廃棄物の減量化

1. 単純焼却廃棄物（可燃）の削減

取組項目	責任者		実施スケジュール												取組評価
			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
①一般廃棄物排出量の把握（計量）	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
②リサイクルボックスによる分別	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
③裏紙再利用（専用カセットの常時セット）	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
④コピー集約機能の積極的利用	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
次年度の取組内容	引き続き分別を実施するとともに、コピーの集約機能等を活用しながらコピー用紙削減も次年度は取り組んでいきます。														

2. 産業廃棄物への取組

取組項目	責任者		実施スケジュール												取組評価
			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
① 廃棄物再資源化率の把握（ﾏﾆﾌｪｽﾄ管理）	工事部 飯田 悟	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
② 廃棄物の分別徹底	工事部 飯田 悟	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
③ 分類別に有価物扱いルートのリサーチ検討	工事部 飯田 悟	計画	○	ー	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	◎
		結果	◎						◎						
次年度の取組内容	再資源化率の向上に努めます。														

3）水資源使用量の削減

水道使用量の削減

取組項目	責任者		実施スケジュール												取組評価
			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
①節水シール等の表示と確認	事務部 山本浩代	計画	○	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	ー	◎
		結果	◎			◎			◎			◎			
②洗いおけの設置と活用	事務部 山本浩代	計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
次年度の取組内容	引き続き洗いおけを活用した節水活動を実施していきます。														

4）自らが施工販売提供する製品サービスでの環境配慮

地域住民に対するボランティア活動

取組項目	責任者	実施結果	取組評価
①つくば市産業育成協議会主催環境美化活動への参加	事務部 山本浩代	◎	◎
②茨城県建設業協会主催防災訓練、美化活動への参加	事務部 山本浩代	◎	◎
③その他、地域住民に対するボランティア活動への参加	事務部 山本浩代	×	×
次年度の取組内容	引き続きボランティア活動の参加に努めます。		

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1）環境関連法規違反はありませんでした。同様に関係機関からの指摘及び訴訟等も過去 3 年間ありませんでした。

2）適用される主な環境関連法規制

※最新版チェック日及び遵守確認日　R4 年 11 月 29 日

法規制名	法規制等	遵守項目	遵守状況	評価
廃棄物処理法 法 12 条第 1 項	・産業廃棄物処理基準	・委託契約書 ・委託先の産廃業許可証 ・委託契約書の 5 年間保管	・工事台帳ﾌｧｲﾙで委託先許可書等で問題無い事を確認（全て工事前に契約書随時締結）	○
法 12 条第 2 項	・産業廃棄物保管基準	・掲示板及び飛散漏洩防止等	・掲示、保管状況問題ない事を確認	○
法 12 条の 3	・管理表（ﾏﾆﾌｪｽﾄ）の交付・保管	・回収・照合（発行後 B2.D 票 90 日.E 票 180 日以内） ・ﾏﾆﾌｪｽﾄの 5 年間保管	・ﾏﾆﾌｪｽﾄで回収照合に問題無い事を確認	○
法 14 条第 1 項 2 項	・廃棄物収集運搬業の許可	・県知事の許可 ・許可の更新（5 年毎更新）	・許可書更新日確認（R3 年 6 月）	○
法 14 条第 12 項	・産業廃棄物収集運搬基準	・運搬車両への表示と書面備え付け ・運搬時の飛散漏洩防止	・全車両の表示、書面確認と飛散等のクレームは無い	○
規 8 条 27	・管理票交付者の報告	・管理票交付状況を県知事に提出 6 月	・管理票交付状況報告書控えで確認	○
建設リサイクル法 第 9 条 第 12 条 第 16 条 第 18 条	・分別解体等実施義務 ・対象建設工事の届出に係る事項の説明等 ・再資源化等実施義務 ・発注者への報告等	・対象建設工事での分別解体等の実施 ・第 10 条第 1 項第 1 号から第 5 号の事項記載書面の交付と説明 ・特定建設資材廃棄物の再資源化 ・発注者への書面再資源化完了報告と再資源化実施状況記録の作成保存	・公共工事につき、契約時にﾘｻｲｸﾙ説明書を作成し、対外役所に提出済みであることを確認 ・工事完成図書に、再資源化完了報告書を提出済みであることを確認した。	○ ○
騒音規制法 法 5 条 法 14 条	・規制基準順守義務 ・特定建設作業の届出	・騒音に関わる基準の順守 ・市町村長へ届出（着工 7 日前）	・低騒音型重機使用を確認 ・期間内は対象工事の実績無し	○ —
振動規制法 法 5 条 法 14 条	・振動基準順守義務 ・特定建設作業の届出	・振動に関わる基準の順守 ・市町村長へ届出（着工 7 日前）	・低騒音型重機使用を確認 ・期間内は対象工事の実績無し	○ —
建設業法 法 3 条	・建設業の許可	・登録許可書	・許可更新日確認（R6 年 6 月）	○
自動車リサイクル法 法 3 条、73 条	・使用済自動車引渡と再資源化預託金支払義務	・引取業者への引き渡し ・購入時の資源化預託金支払い	・全車支払い済みを車検書添付の支払い書で確認	○
家電リサイクル法 法 6 条	・関係者の責務	・廃棄する場合は適切な業者に引き渡し料金を支払う	・当期間内は関連家電の廃棄無し	—
水銀による環境の汚染の防止に関する法律	・関係者の責務	・水銀製品の取り扱い義務遵守	・該当する工事が無いことを確認した	—

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

※見直し実施日時　R4 年 11 月 04 日 09:00 ～11:00

見直し日時	R4年11月04日09:00 ～11:00	場所	本社事務室
参加者	社長（吉田達也）		
	各部門長(山本浩代・飯田悟)		

インプット情報と情報内容・資料等	社長による指示事項
① 環境経営目標の達成状況	・産業廃棄物再資源化率以外は達成された。産業廃棄物再資源化率は今期は森林の伐採による低減であったためである。
環境経営目標/進捗管理表で説明	
R3年11月1日～R4年10月31日の集計結果:実績値/目標値	・引き続き計画に沿った活動を実施して、進捗が管理できるように、また、次年度の取り組み内容は全員に周知。
電力使用量：目標9,739→ 9,732 Kwh	
事務所ガソリン使用量：目標2,733→ 2,350 ﾘｯﾄﾙ	
現場ガソリン使用量：目標1,474→ 1,472ﾘｯﾄﾙ	
軽油使用量：目標49,925→ 49,883 ﾘｯﾄﾙ	
焼却廃棄物：目標89.8kg→89.6kg	
産業廃棄物再資源化率：目標94.9%以上→90.4%(ほぼ達成)	
水道使用量：目標204.5㎥→ 146㎥	
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動数：目標1件以上→3件	
※当期は5000万以上の工事物件はありませんでした。	
② 環境経営活動計画の実施状況及び運用状況	・引き続き計画に沿った活動を実施して、進捗が管理できるように、また、次年度の取り組み内容は全員に周知。
環境経営活動計画表及び環境目標/活動計画管理表で説明	
③ 環境関連法規制等の遵守状況	・今後も順守すべき項目が実施されない場合は、速やかに報告すること。
環境関連法規制等一覧／遵守状況のチェック結果表で説明	
④ 苦情を含む外部利害関係者からのコミュニケーション結果	・本社周辺の清掃活動は今後も継続して実施してください。

指示事項に対する決定・処置内容

前回の指示への取組結果	今回の指示事項に対する決定・処置内容
① 環境経営方針	① 環境経営方針
・2017年度改訂版対応での方針変更	・変更の必要なし
・11月1日社長が内容作成し、事務局が清書	
② 環境経営目標	② 環境経営目標
・引き続き、ガソリン、水道使用量の削減目標基準を	・目標は全般的に達成されました。
R2年度基準削減目標に変更	令和5年度は令和5年度目標値でチャレンジ。
・引き続き、軽油のR2年度基準削減目標値に変更	・目標値は責任者が作成し、社長了解を得る。
・11月1日EA21事務局が作成し、社長へ報告	
③ 環境経営活動計画	③ 環境経営活動計画
・活動計画の進捗及び取組状況がわかる帳票作成	・次年度活動計画の社員への周知
・11月1日EA21事務局が作成し、社長へ報告	
④ 環境経営システム	④ 環境経営システム
2月審査	・EA21定期審査準備
・EA21ガイドライン建設業2009年度版改訂項目による追加変更	

社長のEA21全体振返りコメント

EA21活動を開始して約12年9ヶ月を経過してほぼ浸透しているように思える。再度、朝礼、教育等でのEA21活動の周知を実施し、全員参加型のEA21活動を推進、環境負荷の削減に貢献して行きたい。